

パブリックコメント実施結果について

1. パブリックコメント実施結果

(1) 実施内容

項目名	内容
実施場所	多摩市公式 HP、中央図書館、多摩センター駅出張所、関戸公民館、永山公民館、行政資料室、市役所第二庁舎2階（経済観光課窓口）
募集期間	令和6年12月20日（金）～令和7年1月20日（月）
意見の提出手段	①経済観光課窓口（市役所 第二庁舎2階） ②郵送 ③FAX ④LOGO フォーム ⑤専用ボックス（中央図書館、多摩センター駅出張所、関戸公民館、永山公民館、行政資料室）

(2) 提出者 4人（LOGO フォーム）

(3) 意見一覧（意見数 7件）

No.	意見（要約）
1	<p>「方向性Ⅱ 誰でも挑戦できるまちづくり」について</p> <ul style="list-style-type: none">・今ある3ヶ所のビジネス支援施設は事務所タイプのため、事務所以外の施設があっても良いと思う。具体的には菓子製造許可がとれるような設備を備えたシェアキッチンなど。・テストマーケティングができるチャレンジスペースも良いと思う。ただし、空き店舗等の活用とあることから、集客が見込めない立地は避けるべき。・シェアキッチンを利用していると、企業を目指す方から「手伝いたい」と声をかけられることがあると聞いたことがある。飲食店の起業は身近なのかもしれない。初期投資を抑えられるテイクアウトの店など、スモールビジネスの起業向けに小さな店舗を何年か借りられるようにする施策なども起業増加に繋がると思う。・飲食店でなくても、コワーキングスペースやシェアオフィスよりも独立性を高めたスペースがあれば、次のステップに繋がると思う。必ずしも立派なインキュベーション施設である必要はない。

2	<p>企業誘致について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大卒の若者が就職したい企業は、大手を希望することが推測される。BCP 対策として企業を誘致する案は賛同できる。企業の研究施設を誘致するなど、大卒者の就職に適した企業の誘致を推進することも良いと思います。
3	<p>「方向性Ⅲ いきいきと地域で働けるまちづくり」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在市内の会社に勤務しているので職住近接は大賛成です。 ・市内転入を増やし、市外転出を抑えるのに、市内の事業所在勤者に向けた引っ越し補助はどうか。引っ越し補助は親世帯と同居予定者や、子育て世帯に向けた施策があったように記憶していますが、在勤の独身者も対象に加えても良いと思う。 ・去年多摩市在住の同僚が住まいの立ち退きにあい、市内を断念して市外に転居した。市内の引っ越しに補助はどうかと思うが、立ち退きなどの理由なら検討の余地があると思う。 ・通勤時間が増える本人はもちろん、会社としても通勤費が増えるのは痛い。 ・数年前ですが市事業を活用して市外在住者が中途入社し、市外から多摩市へ転入してきた。通勤手当の支給の面で、市内在住者が増えるのは会社としてもありがたい。
4	<p>成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来から多摩市は企業が少なく、法人税収が少ない自治体であるというイメージが強く、「基本方針 1 魅力的な環境を生かした企業誘致」は、重要な方針であると思う。しかし、市内事業所数の成長率が、現状値【令和 6 年度】3,603 事業所に対する、10 年後の目標が、【令和 16 年度】3,900 事業所以上となっているが、成長率が 8.24%というのは、とても低い目標であると思う。
5	<p>方向性と重点テーマについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に「脱炭素・エネルギー対策」が 3 つの方向性にどのように作用するのか、理解できませんでした。気候変動への対応の一環として、「カーボンプレジットの活用：多摩市の森林を「カーボンシンク」（二酸化炭素を吸収する源）として保全する」という政策を掲げる市としてアピールすることで、環境貢献を目指す企業の誘致が促進されるのではないかと思います。
6	<p>重点テーマについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点テーマ 1（脱炭素・エネルギー対策）については、企業や個人の取り組みが必要となるので、方向性Ⅰ～Ⅲの施策のなかで、どの施策においてどういう取り組みをするのか、具体的な検討と定量的な施策を検討することが重要だと思う。 ・重点テーマ 3（若年層の定着促進）は是非とも推進してほしいテーマだと感じた。若い世代が、この街に来たい、この街で働きたい、この

	街に住みたいと思うようになることは、その街が魅力的でなければ叶わないことだと思う。若い世代が多摩市に魅力を感じることができるようになるためにも、より具体的な検討をお願いしたい。
7	<p>永山駅周辺について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖蹟桜ヶ丘、多摩センター、永山の3拠点とあるが、永山駅周辺は一番変化がないように思う。駅としての特色がないため魅力が感じられない。老朽化により昭和感が色濃く出てしまっている。若者に選ばれる町、企業誘致（開業率UP）を考えるのであれば、駅周辺が変わることは重要だと思う。 ・永山6丁目のサービスインダストリー地区に拠点を置く会社の従業員は、永山駅を毎日利用すると思うので、人を呼び込む為にも駅は充実していた方が良い。また、会社が多くありますが、その周りに食事ができるお店が少ないのが難点だと思う。

2. オープンハウス実施結果

(1) 実施内容

多摩市産業振興マスタープラン素案に対する市民意見を聴取するため、プランの概要を記載したパネルを展示し、来場者へプラン内容を説明しながら意見を伺う方式によりオープンハウスを実施した。

日時		場所	来場者数 ※括弧内は意見有り
1月7日	9:30~16:30	関戸公民館ギャラリー	24 (7)
1月8日			20 (12)
1月9日			12 (5)
1月10日			9 (1)
1月11日	9:30~11:30	関戸公民館第2学習室	0 (0)
1月12日	9:30~16:30		5 (3)
1月13日			2 (2)
1月14日	9:30~11:30	消費生活センター講座室 (ベルブ永山内)	4 (1)
1月15日			1 (0)

1月17日	9:30~16:30	消費生活センターはらっぱ（ベルブ永山内）	13（8）
1月18日	9:30~11:30		5（3）
1月19日	9:30~16:30		4（2）
1月20日			5（2）
合計			104（46）

（2）意見一覧（意見数 105件）

No.	区分	意見（要約）
1	企業誘致・まちづくり関係	・障害者向けの施設で働いている。障害者向けの企業がもっとあっても良いかもしれない。
2		・企業を誘致したらどうか。
3		・多摩ニュータウンは「住宅」として開発された。しかし、入居した住民も、定年を迎える世代となった。これからは、企業誘致に関して助成金を促進すべきだ。
4		・企業を沢山置いてほしい。
5		・若者を増やすためには、広く認知されている企業の誘致が必要である。
6		・「サービスインダストリー地区」の開発には大変関心を持っています。多くの企業を誘致できるといいと思う。
7		・もともとベッドタウンという位置づけである市だと思うから、今更企業進出などは難しいのではないかと思う。
8		・企業がたくさんあれば、若者の流出も結果が違ってくるのかもしれない。
9		・サンリオなど、23区の人にとっても分かる大きな企業があるのは大事。そういう企業が出ていかないような街づくりにしなければならない。
10		・観光資源や企業誘致、インバウンドなどを活用して人流を作ってください、今後の活性化を願います。
11		・商業施設を増やすことが望まれる。聖蹟桜ヶ丘、多摩センター、各2箇所増やしてほしい。
12		・デパートがなくなって寂しい。
13		・電気屋さんなど、お店がどんどんなくなって、新しいものは入ってこない。
14		・個人のお店をもっと増やせたらいい。アスクルとかも便利だが、対面で会話して購入すると良い面もある。

15		・魅力的な企業が少ない。
16		・製造業が少ないので、従業員が増えない。
17		・建物がなくなった後、マンションが建つことが多いが、それはそれで如何なものだろうか。
18		・居住スペース地帯を作ってほしい。
19		・多摩市にもっと大学を置ければいい。今ある大学から減っているのが現状かと思う。大学を増やせば、若者が沢山来るのではないか。
20		・病院が次々閉鎖してしまい、寂しい印象。
21		・永山駅周辺は何もない。
22	拠点について	・永山地区の開発を考える際に、永山にある宗教施設の問題がある。可能であれば、東京都か多摩市で購入して、その土地で企業誘致などできればいいと思う。多摩の住民、子ども、学生にとってよいと思う。
23		・永山駅周辺は、老朽化しているので、積極的に買い物に行こうとは思わない。
24		・永山駅の方は、高低差があり、少々不便だから、あまり行かない。
25		・永山駅辺りは廃れている。
26		・永山駅周辺は、かなり寂しい。住宅地に囲まれて開発をやりようがないのかもしれない。
27		・永山駅近くに住んでいるが、自分も含め年寄りしかいない。
28		・2年前くらいに遠方より多摩市へ引っ越しをしてきたが、聖蹟桜ヶ丘駅周辺など、まちが寂れている印象で少し不安だった。
29		・多摩市は駅を降りたらなんだか寂しい。
30		・駅前にいろいろとまとまっていて、便が良いと思う。
31		若者・人材確保について
32	・自分の子どもたちも市外へ出て行ってしまった。	
33	・若い人が住み続けてくれればよいと思う。	
34	・せっかく近隣に大学があるのだから、若者が定着できれば良いと思う。	
35	・若い人が出て行ってしまふ。これは、昔からある現象。若い人にとって魅力ある街づくりにしなければいけない。	
36	・人口減少社会を迎えるにあたり、若い人に来てもらうのは難しいと思う。	

37		・緑が多いただけだと、若い人は魅力に感じないと思う。
38		・東京都にありながら県外にあるような問題(若者の流出など)を抱えているのだと思った。
39		・外国人が結構住んでいるので、外国人を活用できたらよい。
40		・外国人向けに何かできれば。多摩は住みやすいと思うため。
41		・子育て世代を誘致できればいい。
42		・高齢者、若者世代は共存できる。多世代交流をきっかけにして産業振興の一翼を担う会社作り(起業)の創出をしていくようにしていくのも一つのプランとして考えてもいいのではないかな。
43		・多摩市内には経験豊かな人材が多くいるが、活躍していない。そういった人たちが、参加していく仕組みが必要。
44		・人材流出が起きない様に、先を見据えて計画をする必要がある。既存の団体への補助に振り分けず、先々に必要とされる人材に資金を振り分けてほしい。
45	その他産業振興施策について	・産業について、発注側の視点ではなく、受注側の視点に立つことも重要である。こういったプランを立てる際にも、受注側の視点に立ち計画を立てることができれば、内容も変わってくるのではないかな。
46		・DX、デジタル化を進めるのもいいが、停電した際のことを考えると、きちんとバックアップを取っておく必要がある。ある程度、紙に保存しておく必要があるなので、そのバランスが重要だと思う。
47		・商店街の活性化は難しいのではないかな。起業したい人はいるのだろうか。
48		・成果指標の内容について。問題は、数値ではなく「中身」「質」ではないかな。
49		・ボランティアを活用すべきだと思う。
50	就労・住環境等について	・せめて、企業がテレワークできる環境を整備する。出勤は都心で仕方ないにせよ、テレワークは多摩市で行う。
51		・「流入過多を目指す」とあるが、増えすぎるのも困ると思う。というのも、新たな感染症が蔓延することもあると思うから。
52		・多摩市で産業とは、あまりイメージがつかない、自分のまわりでは、多摩市内で勤務していた人はほとんどいない。
53		・自分の子ども達も、市外で就職した。やはり、多摩市内で勤務するのは、難しいのかもしれない。
54		・多摩市は「働く」というイメージはなく、どちらかというと「住む」というイメージがある。
55		・多摩市は自然もあり、都心からも近く、子ども達にも現役世代にも高齢者にとっても住みやすい地域だと思うので、仕掛け次第で、今後に繋がると思う。

56		・多摩市は環境が豊かで住みやすい。この環境を産業振興にどう活かしていくのかが課題であると思う。
57		・住みやすいのでそれを活かす。
58		・自然豊かな地形を活かした産業を発展させたらどうか。
59		・自然豊かでかつ、不便ではない。この環境を活かすべき。
60		・多摩市在住ではないが、住みやすい街で何も問題ないと思う。
61		・八王子市に住んでいるが、便利さは23区以外の市部は、どこも変わらないのではないかと。
62		・自分の周りの人は、多摩市が好きで、多摩市に住み続けている人が多い。
63		・多摩はバランスが取れていて良い街づくりがされていると思う。
64		・「魅力ある多摩市」の可能性は、まだ沢山あると思う。
65	オープンハウスや計画策定等について	・転出入のグラフが見にくい。例えば、A市転出→多摩市転入→多摩市転出→A市転入という大学生がいたとして、それはA市に戻っただけ。「多摩市からの転出」と捉える必要があるのか？そういったことも含めて、このグラフを作成すべき。
66		・展示内容について、文字が多すぎるかもしれない。ずっと読まないといけなくない。絵や写真などを多く使って、なるべく文字を読まなくて良いような工夫が必要ではないか。
67		・全体的に表現が固い。「多摩市産業振興マスタープラン」など、これだけだとピンとこない。パネル展示等、市民に見てもらう際は他に分かりやすい副題をつけることはできないのか。
68		・気になる見出しを作成できるかどうか。例えば「04」章の中で、「若者流出！？」みたいな目立つ見出しをまず置いて、中身を読ませるなどの手法をとってみるなど。
69		・このような、市民の方々へ知らせるスペースを設けるのは良いと思う。
70		・こういった展示があるのは分かりやすくてよいと思う。
71		・これからも色々な面で周知を続けてほしい。
72		・今後、広報などを見る際に多摩市の産業などの面を注目していきたい。こういう取り組みがあるというのが分かった。
73		・こうした展示コーナーがあることで、多摩市がどのような問題を抱えているのか、それに向けてどのような取り組みをしているのか明確に示されており、我々若者が今後、どのようなことに期待されているのか、その問題にどのように考えていくべきか、考える必要

		があると思った。
74		・ 展示コーナーとして閲覧でき、簡潔な内容で良かった。
75		・ パネルでの展示、説明というかたちについては、非常に分かりやすく良いと思う。
76		・ こういった展示はとても重要である。多摩市にこれからも住み続けたいと思っているので、ここで掲げた目標を達成してもらいたい。
77		・ 多摩市における産業振興策には関心があったので、この展示で概要をつかむことができた。オープンハウスが、もっと周知されれば良い。先を見据えていくためには、それぞれの課題を分析し、新たな可能性を探るのが大事である。
78		・ カフェのスペースなど、人の目につきやすい所で展示でたら尚よかった。
79		・ もう少し大企業が参加して検討すべき(ベネッセなど)。
80		・ 多摩大学が会議に参加しているのは知っていた。
81		・ こういう取り組みは大事だと思う。がんばってください。
82		・ こういった産業に関する計画があるなら少し安心できる。
83		・ 一生懸命取り組んでいることが分かって良かった。
84		・ こういった取り組みは重要なので頑張ってほしい。
85		・ プランの内容については、いろいろな視点でよく考えられたものなのだと思う。
86		・ 人が多く通る場所などで効果的な展示ができれば、尚良いと思う。1つのプランの説明会が単独で開催されていても、集客が難しい面があると思う。
87		・ 若い人がもっと見てほしい内容だと思う。若い人にもっと見てもらうように声掛けをしたらどうか。
88		・ 商店街の人達にも見てもらいたかったが、今の時期は商店街の人は忙しいのかもしれない。
89		・ なかなか難しい面もあると思うが、この取り組みの実行に向けて頑張ってほしい。
90		・ 机上の空論で終わってしまわないようにしなければいけない。
91		・ 川崎市よりは頑張って施策を考えていると思う。若い人の力で、これからも頑張ってほしい。
92	農業	・ 「農業を多摩市でやっていこう」は、今更それはしない方がいいと思う。
93		・ 農業に関する位置付けが気になった。「04」章のコラムで少し触れられていたので、内容は理解した。

94		・農業についても、発展を促していることが分かった。
95		・多摩は山がちだから、従来の農地を沢山使う農業の方法だと厳しいかもしれない。土地をあまり使わない、新しい農業の方法にて、農業を促進していければ、まだ希望はあるのではないかと。立地的にも、消費が多い地域も近いので。
96	観光	・各市で活動する「観光協会」の設置を望みます。
97		・観光資源の充実の基礎整備を進めてほしい。
98	その他	・多摩市で遊べる公園が少ない。孫と遊ぶときボールが池に飛んで行ってしまふ。府中の方が遊べる公園が多い。府中は若い人の人口が増えている。
99		・道が暗い所が多い→街灯がもっと欲しい道もある。
100		・多摩美術大学の美術館がなくな、地域交流の場が少なくなっている様に感じる。
101		・公共施設において、このギャラリーのように、絵を飾る所がもっとあればいい。
102		・産業振興もいいけど、福祉に力を入れてほしい。我々の年齢になると、産業よりも福祉の方が気になる事案となる。
103		・病院のことが気になる。
104		・子育てに関する対策も必要。
105		・安心安全なインフラが必要。